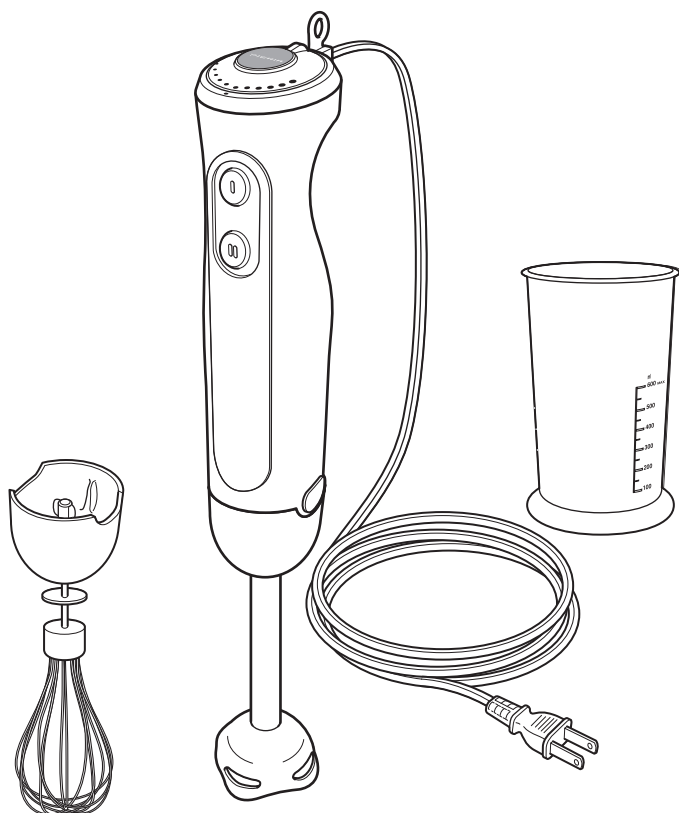


速度調節付ハンディブレンダー HBR-20A

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。



も く じ

安全上のご注意	P. 2～3
各部の名称とはたらき	P. 4
正しい使いかた	P. 4～6
お手入れと保存	P. 7
修理・サービスを依頼する前に	P. 8
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙



仕 様

型 名	HBR-20A
電 源	AC 100V 50Hz/60Hz
定格消費電力	200W
外形寸法	約 幅 6 × 奥行 9 × 高さ 45cm
電源コード長さ	約 1.5m
定格時間	1 分運転 30 分間停止
質 量	約 0.7kg (付属品含まず)
付 属 品	計量ブレンドカップ×1、泡だて器×1、レシピブック×1、取扱説明書・保証書×1



- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意




- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)


図記号の意味と例

	㊄は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、㊄の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「必ず実行すること・強制」を示します。)



警告

 禁止	交流 100 V 以外では使用しない。 感電や火災の原因になります。	 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用しない。 感電・火災の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 感電や発熱・火災の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		定格 15A 以上のコンセントを単独で使う。 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・やけど・感電の原因になります。		配線器具の定格を超える使いかた、複数の配線を接続したタコ足配線で使用しない。 コンセント部が異常発熱して発火するおそれがあります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 分解禁止	電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着しているときはふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	計量ブレンドカップの中に指や箸、スプーンなど調理食材以外のものを入れない。 けが・故障の原因になります。		分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 感電・火災・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。
	回転中のカッターに指・スプーン・はしなどで触らない。 けがの原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	子供や幼児の手の届く場所には保存しない。 けがをさせる原因になります。	 水ぬれ禁止	本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
	業務用に使用しない。調理目的以外の使いかたはしない。 本製品は家庭用として設計・製造されています。業務用としての使用は、絶対しないでください。		

警告

 プラグを抜く	使用後は電源プラグをコンセントから抜く。 火災・故障の原因になります。		
	お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。		

注意

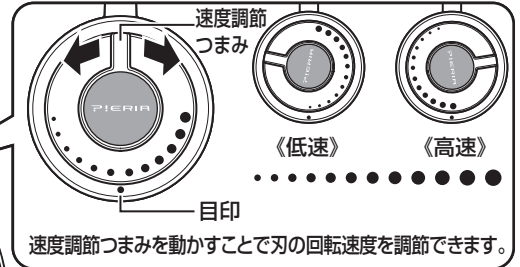
 接触禁止	カッターに直接手を触れない。 けがの原因となります。	 禁止	次のような場所では使用しない。 ●水や油のかかりやすいところ。 ●湿気の多いところ。 ●火気の近く。 ●直接日光が長時間当たるところ。 ショート・感電・変形・故障の原因になります。
 禁止	一度の運転で1分を超えて使用しない。 モーターの加熱により、故障の原因となります。		氷や冷凍フルーツなどの固いものや、生肉やひき肉・やまいもや炊いたご飯などの粘り気の強い食材の粉砕などに使用しない。 けが・故障の原因になります。
	直射日光が当たる場所、火や熱源の近くでは使用しない。 変形・故障の原因になります。		テーブルの端や不安定な場所に置かない。 落下して、故障・けがをする原因になります。
	変形や破損のあるときは、使用しない。 感電・火災・やけどの原因になります。		テーブルや机以外の不安定な場所では使用しない。 落下して、故障・けがをする原因になります。
	電源コードが引っ張られた状態で使用しない。 断線などをおこし、火災・感電・やけどの原因になります。		計量ブレンドカップは電子レンジで使用しない。 変形・破損の原因になります。
	電源コードを束ねたまま使用しない。 火災の原因になります。		ガラス製の容器には使用しない。 破損・けがの原因になります。
	動作中に移動しない。 けが・故障の原因になることがあります。		加熱中のなべでは使用しない。 破損・やけどの原因になります。
	空回ししない。極端に少ない材料で使用しない。 けが・故障の原因になることがあります。		運転は部品をすべて取り付けしてから行なう。 故障の原因になることがあります。
60°C以上の熱い食材や熱湯を計量ブレンドカップに入れない。 ふきこぼれによるやけどや計量ブレンドカップが変形する原因になることがあります。	 指示		
お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。			電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電・ショートの原因になることがあります。

各部の名称とはたらき

①速度調節モード電源スイッチ

②ターボモード電源スイッチ

- どちらもスイッチを押している間だけ「入」の状態になります。
- 速度調節モード電源スイッチを押すと、速度調節つまみで設定した回転速度でカッターが回ります。
- ターボモード電源スイッチを押すと、速度調節つまみの高速よりも速い回転速度でカッターが回ります。



速度調節つまみを動かすことで刃の回転速度を調節できます。

※ 運転中に回転速度を調節しない。

速度調節モード
電源スイッチ

ターボモード
電源スイッチ

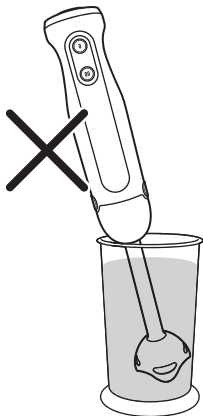
本体

電源コード

電源プラグ

⚠注意

ブレンダーを計量ブレンダーカップの中に立てかけない。転倒して破損や食材散乱の原因になります。



⚠注意

- ガラス製の容器には使用しない。破損やけがの原因になります。
- カッターには直接手を触れない。けがの原因になります。

取りはずしボタン
2つ一緒に押すと、ブレンダーを取りはずすことができます。

接続部

ブレンダー

ガード

泡だて器

カッター
※カッターの刃は取りはずしできません。

計量ブレンダーカップ
※電子レンジ使用不可。
※最大容量 600ml

正しい使いかた

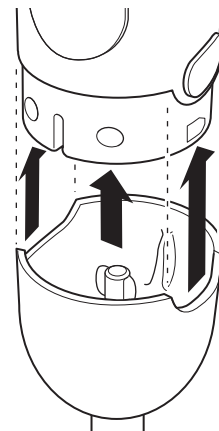
使用前の準備

1. 電源プラグがコンセントから抜けていることを確認する
2. 本体にブレンダーまたは泡だて器を取り付ける

図のように本体の取りはずしボタンの部分にブレンダーまたは泡だて器の凹み部分を合わせて取り付けてください。

⚠注意

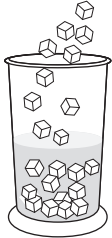
本体とブレンダー、本体と泡だて器は確実に取り付ける。
取り付けが不十分ですと、使用中にはずれたりすることがあります。



3. 計量ブレンドカップに食材を入れる

⚠注意

- 食材が容器からあふれないよう注意する。水分を含め食材が最大容量 600ml 以上にならないようにする。
- かたい食材は 1cm 角、やわらかい食材は 2cm 角に切り、使用する。



4. 速度調節つまみを食材に合わせて設定する

5. 電源プラグをコンセントに差し込む

速度調節モードの使用

1. 計量ブレンドカップをしっかりと押さえ、中の食材にカッターを当てた状態で、電源スイッチ①を押す

スイッチを押している間だけ、作動します。

⚠注意

- 1分以上の連続運転または休止をはさみながら合計 1 分間を超えての運転をしない。
- 1分間の連続運転または合計 1 分間の運転をしたあとは、必ず 30 分以上間隔をあけて使用する。長時間連続運転するとモーターの温度が上昇し、故障の原因となります。

※ 定格時間（1 分）以内の使用であっても本体はやや温かくなりますが、異常ではありません。

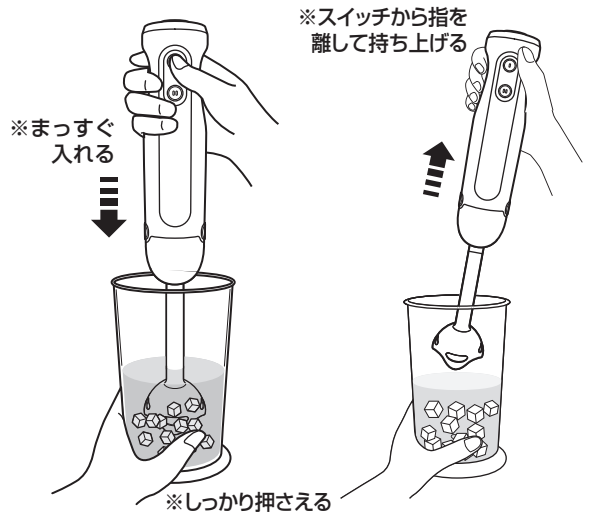
2. 回転速度を変えるときは、電源スイッチ①をはなし速度調節つまみを動かして、最適な速度に調節して調理する

ターボモードの使用

3. 最速の速度で調理するときは、電源スイッチ②を押して調理する

4. 使用後は電源スイッチ(①または②)から指をはなし、刃の回転が止まったことを確認してからブレンダーを上を持ち上げる

5. 電源プラグをコンセントから抜き、取りはずしボタンを押して本体からブレンダーを取りはずす



ブレンダー使用時のポイント

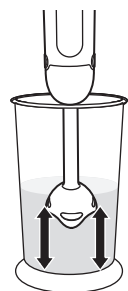
固形物を調理する

食材にカッターをあてた状態でスイッチを入れ、上下左右に動かしてすみずみまでつぶす。

※ ブレンダーが計量ブレンドカップの底面に吸い付いたときは、運転を止めると離れます。

液体を調理する

ガード部分を液面下に入れた状態でスイッチを入れ、ガードが液面より上に出ないように動かしてください。ガードが液面より上に出ると、食材が飛び散ることがあります。



正しい使いかた（つづき）

泡だて器使用時のポイント

※ 泡だて器の取り付けかたは、「使用前の準備」（4ページ）を参照してください。

- 食材を市販のプラスチック製または金属製の大きくて深めのボウルに入れて使用してください。



注意 ガラス製のボウルは使用しない。
破損やけがの原因になります。

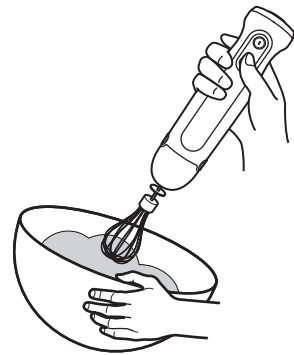
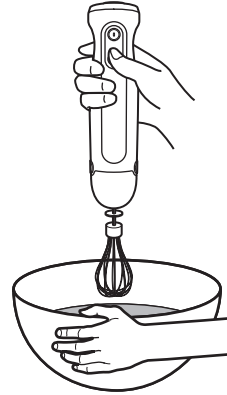
- ボウルや泡だて器の水分をよく拭いてから使用してください。水分が残っているとうまく泡立てることができません。
- 卵白の泡だては一度に卵4個分までとしてください。
- お米などの固い食材のかきまぜには使用しないでください。お米などが割れて飛び散ります。
- 食材が多い場合は、本体をまっすぐ持ってください。
- 食材が少ないときや、食材に空気をより多く入れるような調理時には、泡だて器を斜めにして、先端全体で食材をかきまぜてください。



注意

- 1分以上の連続運転または休止をはさみながら合計1分間を超えての運転をしない。
- 1分間の連続運転または合計1分間の運転をしたあとは、必ず30分以上間隔をあけて使用する。長時間連続運転するとモーターの温度が過上昇し、故障の原因となります。

※ 定格時間（1分）以内の使用であっても本体はやや温かくなりますが、異常ではありません。



- 氷や冷凍フルーツなどの固い食材や、生肉やひき肉・やまいもや炊いたご飯などの粘り気の強い食材の調理に使用しない。
モーターの温度が上昇し、安全装置が作動して動かなくなることがあります。
- 食材には水分を必ず加える。
水分が少ないとうまく調理できません。
- カッターは鋭利なので、絶対に手を近づけたり、容器の中に箸やスプーンを入れたまま作動させない。
けが・故障の原因になります。
- スイッチの ON/OFF は必ずカッターが食材に接してる状態でおこなう。
- 熱い食材を調理するときは注意する。
食材が飛び散りやけどの原因になります。
- なべの中で使用するときには注意する。
火からおろして粗熱を取ってから使用してください。食材が飛び散り、やけどの原因になります。
加熱中のなべでは絶対に使用しないでください。
なべ底に押し付けしないでください。なべ底にキズがついたり、コーティングがはがれる恐れがあります。
- 計量ブレンドカップは電子レンジで使用しない。また、60℃以上の食材を入れない。

お手入れと保存



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
感電・火災・けがの原因になります。

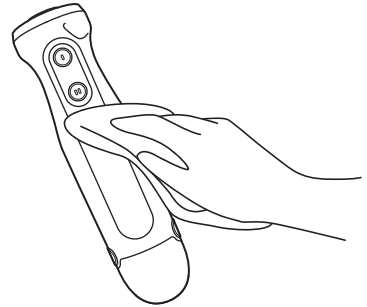


- カッターは手で触れない。
カッターは鋭く危険ですので、直接触らずお手入れのときは十分に注意してください。直接触れるとけがの原因となります。
- 食器用洗浄機や食器用乾燥機は使用しない。
変形・破損の原因になります。
- カッターのお手入れは市販のブラシなどを使用する。
- お手入れには、ベンジン・シンナー・金属たわし・磨き粉・化学ぞうきん・漂白剤を使用しない。
変色・変形・破損の原因になります。

本体

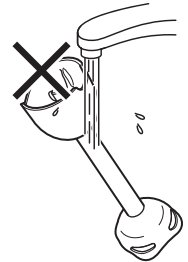
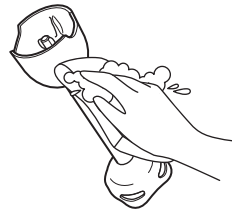
水洗いできません。

ぬるま湯か食器用中性洗剤に浸してかたくしぼった柔らかい布でふき取り、さらに乾いた布でやさしく空ぶきをしてください。



ブレンダー・泡だて器

1. ブレンダー・泡だて器を本体からはずし、柔らかなスポンジに食器用中性洗剤を薄めた水を含ませ拭き取り、水でしっかりと洗剤を洗い流す
※油分の多いものを調理した場合は、下記2.のようなお手入れをすることもできます。

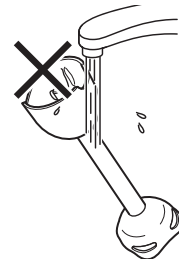
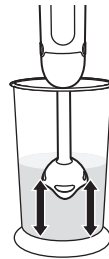


※ 接続部には水がかからないように注意する。



接続部は、水につけたり水をかけたりしない。
故障の原因になります。

2. 計量ブレンドカップに水またはぬるま湯と食器用中性洗剤を少量入れ、ブレンダーを液面下に入れた状態で動作させ、汚れを落とす



※ 接続部には水がかからないように注意する。

計量ブレンドカップ

水洗いできます。

保存のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ポリ袋などをかぶせ、湿気のない場所に保存してください。

修理・サービスを依頼する前に

⚠ 警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
スイッチを押しても作動しない	・電源プラグが抜けている	電源プラグをコンセントにしっかり差し込む
	・粘り気の強い食材を調理し安全装置が作動した	安全装置の交換が必要です。お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室にお問い合わせください
刃が回らない 回転が遅い	・食材が多すぎる	食材の量を減らす
	・ブレンダーに食材がからまっている	電源プラグをコンセントから抜き、カッターにからまっている食材を取り除く（指で直接取り除かない）
	・固い食材や粘り気の強い食材を使用している	固い食材や粘り気の強い食材は使用しない
本体が熱い	・連続運転時間 1 分または合計 1 分間を超えて使用している	長時間の使用はしない。スイッチを切り、電源プラグを抜き 30 分以上休ませる
	・粘り気の強い食材を使用している	定格時間内でも粘り気の多い食材は使用しない
電源プラグが熱い	・コンセントへの差し込みがゆるい	コンセントにしっかりと差し込む。また、コンセント自体に問題がある場合は最寄の電気店にご相談ください

長年ご使用のハンディブレンダーはよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

MEMO

MEMO

MEMO